

七五三祝い会

2020・11・13
(記) 田中

七五三は、7歳・5歳・3歳の成長をお祝いする日です。昔は、病院がなく生きるのが難しい時代で、7歳まで成長できることが当たり前ではありませんでした。そこで、子どもの成長を神様にお祈りするために七五三の儀式が行われたそうです。今は、病院があるので風邪をひいたら治すことができますが、これからもたくさん食べてたくさん寝て元気な姿であることを願っています！

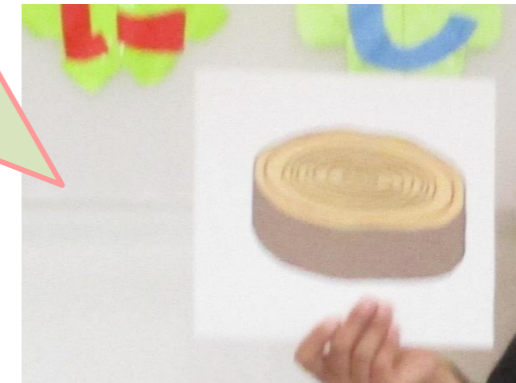


『七五三 すくすくお祝いの日！』というお話を読みました。

その後、七五三クイズをしました！
“七五三のお祝いで食べるものは？”にすぐに「あめ！」と答えてくれました♪



七五三のお祝いで食べるものといえば、千歳飴ですが、わらしベ第二保育園ではバームクーヘンをお配りしています。バームクーヘンは輪切りにすると木の年輪のような模様が現れます。みんなも木のようにたくましく大きく年を重ねていけますように🌳



七五三祝い袋

七五三祝い会に向けて、“木のように大きくなってほしい”と願い木をイメージした袋を作りました。



給食

- メニューは
- ・赤飯
 - ・ぶりの照り焼き
 - ・青菜ときのこの和え物
 - ・さつま芋甘煮
 - ・すまし汁
 - ・柿

ぶりは、成長するに従って呼び方が変わる、いわゆる「出世魚」として縁起が良いとされています。赤飯の赤という色には呪力があり、災いを避ける力や魔よけの意味があり、お祝いの席で食べられ始めたと言われていました！！